

令和5年度 あいさつ

学校で大切にしてほしいこと、それは、「「当たり前のことを当たり前にする」ことです。
当たり前のこととは、「あ・い・う・え・お」です。

「あ」・・・あいさつをする

「い」・・・一生懸命勉強する

「う」・・・運動して体をきたえる

「え」・・・笑顔で生活する

「お」・・・お友達にやさしくする

この「あ・い・う・え・お」を大切にし、笑顔あふれる学校にしていきます。

子供にとっては、学校に来ることが楽しい、勉強することが楽しいと感じられ、安心できる学校に。保護者の皆様・地域の皆様にとっては、子供を通わせたいと思える学校に。教職員にとっては日々の指導にやりがいを感じ、力を発揮できる学校に。子供の笑顔、保護者の皆様・地域の皆様の笑顔、教職員の笑顔があふれる学校にしていきたいと思っています。

本校は、明治34年5月の開校以来、地域と学校が一体となって、知・徳・体の調和のとれた人間性、豊かな児童の育成を目指し、人間尊重の精神に基づく教育実践を積み重ねて参りました。今年度は、開校122年となります。

子供たち一人一人が、学ぶ楽しさや喜びを実感できるように、授業の方法を工夫改善し、基礎基本の確実な習得と、その活用力の育成を図る実践研究を日々行って参ります。また、関係する多くの方々のご協力により、学習の補充、将棋、俳句、百人一首、落語に親しむ環境づくりを整備するなど、特色ある教育活動を進めています。

また、昨年度の研究発表を土台に「足立区教育委員会指導力向上中核校～外国語活動・外国語」として引き続き研究に取り組み、子供たちに還元していきます。

浏江小学校122年のよき伝統を受け継ぎ、保護者の皆様、地域の皆様とともに、子供たちの健やかな成長のために教職員一丸となり、尽力して参ります。どうぞ、よろしくお願いいたします。

令和5年4月3日 足立区立浏江小学校長

